

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任立候補意思表明書

2015年4月28日 安田英二郎

ハンググライダーやパラグライダー人口を増やすこと、そのためにJHFではいろいろな試みをしてきましたが、未だフライヤーの自然減を補って会員数が上昇するところまではきていません。バブル時代の様に右から左へ毎日、毎日グライダーが飛ぶように売れる時代はもう来ませんし、フライヤーを劇的に増やす方策ありません。しかし、これからもずっと空を飛ぶことの楽しさを発信し続けていく必要があります。空を見上げたことのない人たちの目を空に向けましょう。自分で空を飛ぶことは楽しいんだという感動を伝えましょう。

フライヤーを生み出す最前線にいるのは全国のスクールや教員です。スクールや教員が新規フライヤーを増加させるために必要こと、有益なことを進めます。スクールや教員の実情は全国によって異なります。新規フライヤーを増やすために必要なことも全国によって異なります。どういうことがフライヤー増加に必要なのかを全国からJHFに対して教えてください。JHFは公益社団法人として高い公平性、中立性を求められていますが、その範囲内でできる限りの応援をしていきたいと考えています。

また、ハンググライダーとパラグライダーのメディアへの露出を出来るだけ増やし、市民への広報宣伝に務めたいと思います。

危険なスポーツと思われたら誰も自分ではやろうと思いません。普及と安全はJHF活動の両輪です。安全なくして普及ありません。空を飛ぶことは決して危険ではない、きちんとルールを守って飛べば安全なスポーツなのだということを実践する必要があります。赤字が続くフライヤー保険を維持するためにもより一層の安全対策が求められています。安全のための知恵と工夫を集め、実行していきたいと思います。